

## 政策 1 温暖化対策として 緑の多い環境作り

### ●温暖化対策としての緑化推進

近年の気候変動により、街路樹や植え込みの一部では枯れが目立つようになっています。

これに対しては、定期的な水やりによる維持管理が必要です。また、特に住宅地では緑が少なく、夏の暑さがより厳しく感じられます。そこで、かつて多く見られた生垣の再導入を促すため、生垣づくりに対する補助金制度を新たに設けます。つる性植物なども活用でき、住宅まわりに日陰をつくることで涼しさを確保できるほか、強風の緩和にも効果的です。

暮らしの中に緑を増やすことは、温暖化対策として有効であると同時に、地域の景観や快適性の向上にもつながります。



## 政策 2 減反政策の見直し

### ●減反政策の見直しについて

現在、国内ではお米の不足が深刻な問題となっています。南海トラフ地震の前兆とも言われる地震をきっかけに物流や需要が不安定となり、米不足が顕在化しました。

その後、新米の出荷が始まって、十分に解消されるには至っていません。これは、私たちが「足りるだけのお米」を作っていない現状を表しています。

さらに、気候変動（温暖化）による天候不順や高温障害なども、収穫量の減少に拍車をかけています。

こうした状況をふまえ、減反政策の見直しを行い、安定的な米の生産体制の構築が急務です。食の安全保障の観点からも、国内で必要な量を確保できる農業政策への転換が求められています。



## 政策 3 介護現場の 待遇・改善

### ●介護現場の待遇改善について

介護の仕事は、身体的・精神的に大変な業務でありながら、その負担に見合った給与が得られにくい現状があります。一方で、急速に進む高齢化の波はすぐそこまで迫っています。年を重ねることで、思うように体が動かなくなったり、外出や人との交流が難しくなる方も多くいます。そうした中で、通所介護施設（デイサービス）は、日常の中で人とふれあい、会話を楽しむ貴重な場です。

また、ショートステイは、ご本人にとってもご家族にとっても心と体を休めることができる大切な時間となっています。

介護は、人と人との支え合いを形にする尊い仕事です。社会全体で、その価値を正しく評価していく必要があります。



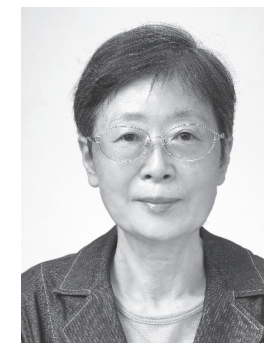
# 人々が安心して暮らせる社会を作りたい

#### ●プロフィール

1956年10月28日生まれ、68歳  
浦安町立南小学校 卒業  
江戸川区立松江第四中学校 卒業  
國學院高等学校 卒業  
不動産賃貸業

#### ●趣味

映画観賞  
美術館巡り  
家庭菜園（夏のみ）



おおつか  
大塚  
京子  
きょうこ

無所属